

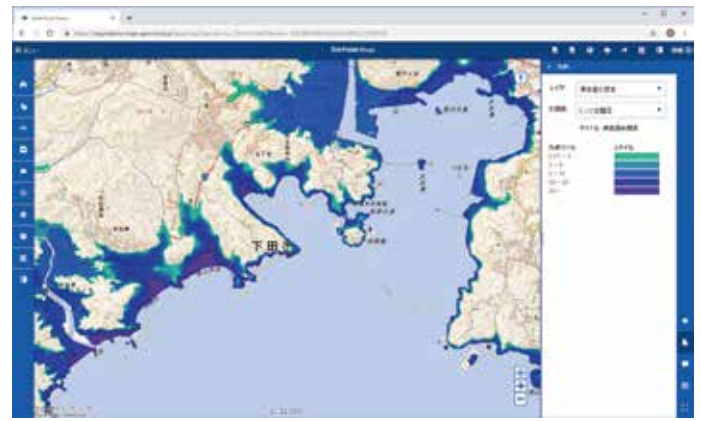
地理教育向け WebGIS サービス

# 地史まっぷ

2022年度  
高等学校  
「地理総合」  
必修化に向けて

モニター募集中

地史まっぷ(じーしーまっぷ)は学校の授業で手軽に使える地理情報システム(GIS)です



## 地史まっぷ導入の3つのメリット

【インターネットに接続するだけ！】



面倒なインストール作業は不要。  
パソコン、タブレット、スマートフォンで  
操作可能です。

【作成データの共有】



学校内、教育機関内、インターネット  
いずれかを選んで地図を公開。  
発表会や学会での発表も簡単に行えます。

【リモート授業に】



with コロナの時代。  
リモート授業でも進めやすい、  
使い勝手が良いデザインです。

【詳細・お申込み】

<https://www.informatix.co.jp/gcmap-e>

🔍 地史まっぷ で検索

【地史まっぷについてのお問合せ】

株式会社インフォマティクス 事業開発部

E-mail : [gcmaps@informatix.co.jp](mailto:gcmaps@informatix.co.jp) Tel : 044-520-0850

2次元コード  
からアクセス



地史まっぷに  
ついでの詳細は

# 地史まっぴ

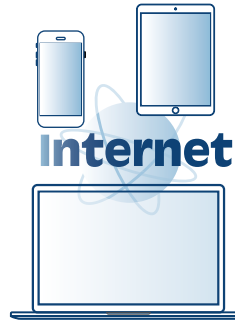
使い方簡単！すぐに利用可能！



## 主な機能

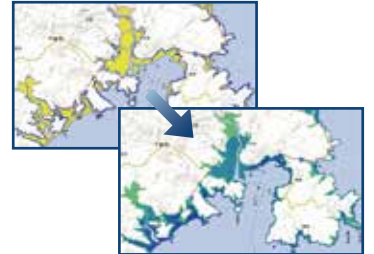
### » ブラウザがあれば OK

ブラウザはどのPC・タブレット・スマートフォンにも入っているため簡単に手間なく始められます。面倒なインストール作業は不要です。



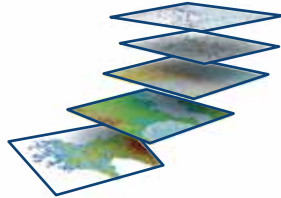
### » 生徒が地図を編集！色分けや作図が可能

国の人口などの地理情報を色分けしたり、フィールドワークで現場の情報を作図して書き込んだりすることができます。



### » 地図の重ね合わせが簡単

背景には国土地理院の地図を使用しています。各種GISデータを重ねて表示したり、表示/非表示を簡単に切り替えることができます。



### » 作成データの共有

生徒間のグループワークや生徒から先生への課題提出など、データの共有が簡単にできます。



## ご利用の流れ

- step 1** まずはご利用申込み！（IDが発行されます）
- step 2** 地史まっぴのサイトにログイン
- step 3** 授業に合わせて生徒をユーザー登録

- step 4** 生徒も授業で GIS を操作！
- step 5** 生徒が作った地図を確認
- step 6** 授業後、作成したデータは公開も可能！

利用者登録すれば  
充実のFAQも  
サンプル教材も  
ご利用可能！

ご利用の流れについてはこちら▼



## お客様の声

「GISで学びを可視化し生徒の興味を刺激することで、より主体的な学びを得られるという印象を受けました」

— 千葉県私立高校地理科教諭

「コロナ禍で十分な準備期間が持てない中であっても、地史まっぴのわかりやすい画面がスムーズに導入できる要素になったと感じています」

— 大阪府私立大学准教授

### 【インフォマティクスについて】

インフォマティクスは、教育機関を含む幅広いお客様に、CAD（設計製図ソフト）やGIS（地理情報システム）のソフトウェアやアプリケーションの開発・提供を行っているソリューションベンダーです。弊社GIS「SIS/GeoConic」は2020年現在、日本国内で約34,000ライセンスの販売実績、教育機関へは全国185校への導入実績があります。

### 【GCMaps(地史まっぴ)サービス利用規約と個人情報の取り扱いについて】

本サービス利用規約につきましては、右記リンクをご覧ください。<https://www.gcmaps.jp/terms/index.html>  
本サービスにおける個人情報の取り扱いにつきましては、右記リンクをご覧ください。<https://www.gcmaps.jp/privacy/>  
今後、弊社からの案内を希望されない場合、または弊社が送付した宛先等の訂正をご希望の場合は、お手数ですがメールまたは電話でご連絡ください。E-mail:ifx-marketing@informatix.co.jp  
TEL:044-520-0851 弊社の個人情報保護方針につきましては、弊社ホームページの個人情報保護ポリシーページをご覧ください。<http://www.informatix.co.jp/top/privacy.html>

【地図データ出典】国土地理院:地理院タイル「The bathymetric contours are derived from those contained within the GEBCO Digital Atlas, published by the BODC on behalf of IOC and IHO (2003) (<http://www.gebco.net>) 海上保安庁許可第292502号(水路業務法第25条に基づく類似刊行物) Shoreline data is derived from: United States, National Imagery and Mapping Agency, "Vector Map Level 0 (VMAPO)," Bethesda, MD; Denver, CO: The Agency; USGS Information Services, 1997.; 国土地理院:地理院タイル「標準地図」、国土交通省:国土数値情報(津波浸水想定)、行政区域データを元に株式会社インフォマティクスが加工



株式会社 **インフォマティクス** [www.informatix.co.jp](http://www.informatix.co.jp)

本社 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー 27F 〒212-0014  
大阪営業所 大阪市浪速区難波中2-10-70 パークスタワー17F 〒556-0011  
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-5-13 オリックス名古屋錦ビル11F 〒460-0003

[info@informatix.co.jp](mailto:info@informatix.co.jp)

Tel:044-520-0850(代) Fax:044-520-0845  
Tel:06-6633-0803(代) Fax:06-6633-0804  
Tel:052-265-8608(代) Fax:052-265-8677